

I C T 連携部会活動報告



平成30年度の取組方針

平成29年度はMCネットを多くの方に知ってもらうため、MCネット塾を開催。また、同時に部会員による未加入事業者への訪問等を行い、加入数を伸ばした

目標

「上越・妙高地区の連携標準ツールとなる」

- ・ 地域包括支援センター加入率100%
- ・ 居宅介護支援事業所 加入率80%を目指す。



課題

- ①MCネットを知ってもらうための働きかけを行う
- ②使い始めやすいツールになる
- ③使ってもらえるツールにする

Plan 【課題と取り組み内容】

①MCネットを知ってもらうため

- ・ MCネット塾を継続開催する
- ・ MCネットかわら版を年2回（7月、12月）発行する

②使い始めやすいツールにするため

- ・ 「本人・家族向けリーフレット」を作成する
→本人や家族へ説明する際に活用

③使ってもらえるツールにするため

- ・ ケアマネ、訪問看護対象のMCネット「活用」塾の開催
- ・ 訪問看護ステーションに積極的に活用していただけるよう働きかける

D0 【実行①】

MCネット塾を開催 10回（平成30年5月～平成31年2月）



D。【実行①-2】

MCネットかわら版を発行 年2回予定だったが年4回発行

- ・ 利用者の声
- ・ 基本的な操作方法
- ・ 便利な機能などを紹介

※MCネットのファイル倉庫に入っています！是非ご覧ください。

MCネットかわらばん 8月 2018/vol.1
発行：ICT部会

ごあいさつ
今月よりICT連携部会では「MCネットかわらばん」を発行することになりました！この「かわらばん」はMCネットの加入者を100%に、また、MCネットの活用が益々進むことを目的としています。皆さんに有益な情報が発信できるよう、頑張っておりますので、よろしくお願ひします！

MCネット
登録してみました！
閲覧板を見るだけでなく、「書く」のはもちろんと、「読む」方もたくさんいます。閲覧板は、ご利用者様に関する情報を共有する場所です。ご利用者様に関する情報をどんどん発信しましょう。例えば、デイサービスやケアセンターの活動なども、その理由や感想なども、現物がなくても大丈夫です。ケアマネジャーだけでなく、ご利用者様のサービスに関わる全員に情報を発信しましょう。

現在のMCネット登録事業所数は？（7月9日現在）
・地域包括支援センター 12 包括中 10 包括(83.3%) ・居宅介護支援事業所 86 事業所中 47 事業所
・訪問看護 14 事業所中 13 事業所(92.9%) ・医療機関 28 機関
・その他…訪問介護、通所介護、短期入所介護、福祉用具、小規模多機能型居宅介護などの事業
ご利用者様に対して、いろいろな職種の方が一つのチームとして関わられるように、ぜひ多くの事業加入いただけるようお声がけください。

MCネット熱のお知らせ！
操作方法や発信の仕方を体験し
◆8月以降の予定◆
・8月16日(木) 会場：上越医師会館
・9月20日(木) 会場：上越医師会館

MCネットかわらばん 10月 2018/vol.2
発行：ICT連携部会

ICT連携部会では、MCネットの加入者の増加を目指すとともに、活用がより進むことを目的に「かわらばん」を発行して情報を発信しています。今回は、よくある質問や8月に開催したMCネット活用塾について紹介します。

MCネット使用について、よくあるQ&Aコーナー

Q: 閲覧板は、毎回新規作成するのですか？
A: 同一メンバーで、同一対象者を継続的(経時的)に看ている場合は、返信のみを作成するか、既読だけでもOKです。メンバーが変わる、対象者が変わる、項目別や症状別で情報交換したい場合は、新規作成がいいでしょう。

Q: メールの書き出しは「いつもお世話になっております」と書いていいけど、同じでもいいの？
A: 挨拶は不要です。要件を簡潔に記入しましょう。目安は5行以内くらいかな！
※見た-聞いた-触って見た状況等の事実を記入しましょう。推測や憶測で書き込みるのは危険です。

Q: 書きこむタイミングが分からない…まあ書かないでもいいか…
A: みんなが知っている方がいいかどうか、を考えること。うれしい・悲しいなど対象者の気持ちを共有したい場合は、是非書きこんでください。
※慣れるまで、「訪問したら〇〇の様子を知らせてね」と書いてくれると他の人は書きやすいかも！

MCネット活用レポート
このコーナーは、MCネットを活用している方々が、リレー形式で活用事例を紹介するコーナーです。2人は、ICT部会事務局の藤原先生です！

8月29日に上越医師会館でMCネット活用塾が開催されました。今回の開催は、MCネット上でのやりとりを、実際に体験していただくことを目的としました。当日は、ケアマネジャー、訪問看護師、病院の医師やソーシャルワーカー、医療従事者、ケアマネジャー、理学療法士1人でした。第一部は、シャリオを二例用い、訪問看護師、病院の医師やソーシャルワーカー、理学療法士1人でした。第二部では、MCネットの活用事例を紹介しました。MCネットの活用事例は、MCネットの活用事例を紹介しました。MCネットの活用事例は、MCネットの活用事例を紹介しました。

MCネット熱のお知らせ！
◆10月以降の予定◆
・10月18日(木) 会場：上越医師会館
・11月15日(木) 会場：上越医師会館

D。【実行②】

MC ネットを

本人や家族へわかりやすく説明する為に

「本人・家族向けリーフレット」

を作成し

MC ネット内ファイル倉庫に保管

ご利用者様・ご家族様へ

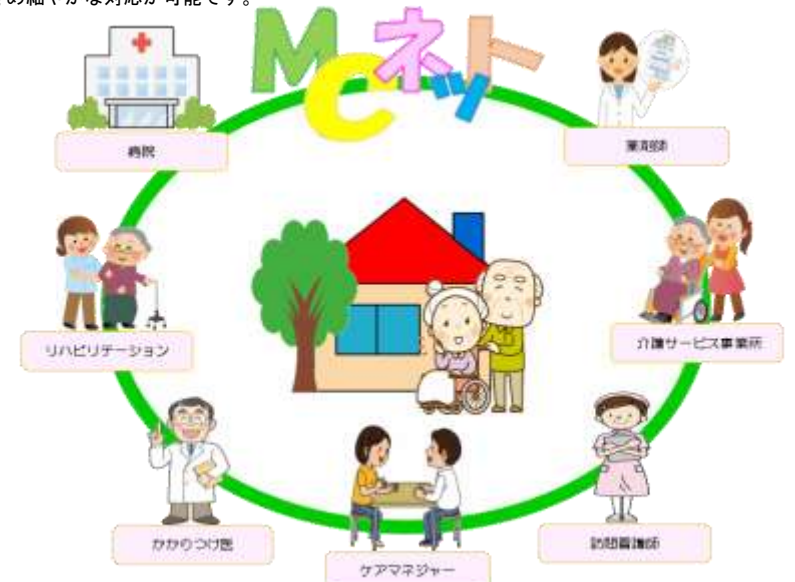
MC ネット を活用しましょう

◇MC ネットってなあに？

『MC ネット』は、ご利用者様1名ごとに上越・妙高地域の病院・診療所、訪問看護ステーション、薬局、介護事業所等の担当者が、利用者が在宅に必要な医療・介護サービスを円滑に利用するための情報を共有する仕組みです。

◇MC ネットを使うとどんな良いことがあるの？

それぞれの専門職がご利用者様に最適なサービスの提案や、変更、問題発生時の情報共有などを行うことができます。また、画像や動画の共有もできるため、お医者さんや、リハビリ専門職、看護師、介護士などが映像等で状態の確認もできるため、ご利用者が在宅で生活するためのアドバイスや、よりきめ細やかな対応が可能です。



◇共有する情報の例

- ・日々の状況やサービス利用時の様子
- ・提供するサービスの内容
- ・関係者に確認したいこと、助言をもらいたいこと

◇写真や動画も共有可能

- ・皮膚状態、食事形態・歩行時の姿勢
- ・環境整備に必要な室内写真など

D。【実行③】

・MCネットの有効活用のため、

MCネット活用塾を開催

8月29日（水） 28人参加



ケアマネ 26名
訪問看護 1名
理学療法士 1名

居宅介護支援事業所、訪問看護事業所の皆様

H30年度



～MCネットに登録したけれど、書き方が…～

みなさんは、MCネットをどのように活用していますか？
MCネットで回覧板を「見る」だけで「書く」のはちょっと…という方はいませんか？
各専門職が、回覧板を使ってどのように情報共有をしているのか、実演してみます。
活用するとどんなメリットがあるのか、ユーザーの声も聞いてみませんか？

【日程】 平成30年8月29日（水）15:00～16:30

【会場】 上越医師会館

【参加定員】 80名（先着順）

【締切日】 8月22日（水）

上越市・妙高市在宅医療・介護連携推進協議会 | CT連携部会

【申込・問合せ先】 上越市高齢者支援課・介護指導係 担当：佐藤

電話 025-526-5111 内線 1677

FAX 025-526-6115

所属（事業所名）	職・氏名

D ○ 【実行③ー2】

訪問看護ステーションの加入率85.7%を活かし

ケアマネ・訪問看護連携会議にて周知し

積極的に病院・診療所などにどんどん発信してもらおう



訪看は、医療依
存度～生活環境
の状況まで広い
視野で観察し、
情報発信ができ
ます！



D ○ 【実行一まとめ】

①-1 MCネット塾開催

年10回 参加者延 79人 (平成31年1月末現在)

①-2 MCネットかわら版を発行

年4回発行 8月号 10月号 12月号 3月号(予定)

② 本人・家族向けリーフレットを作成し、平成30年7月23日使用開始

③ 活用のための取組

MCネット活用塾を開催

ケアマネジャーや訪問看護事業所へ、効果的な活用方法について啓発

Check【評価1】

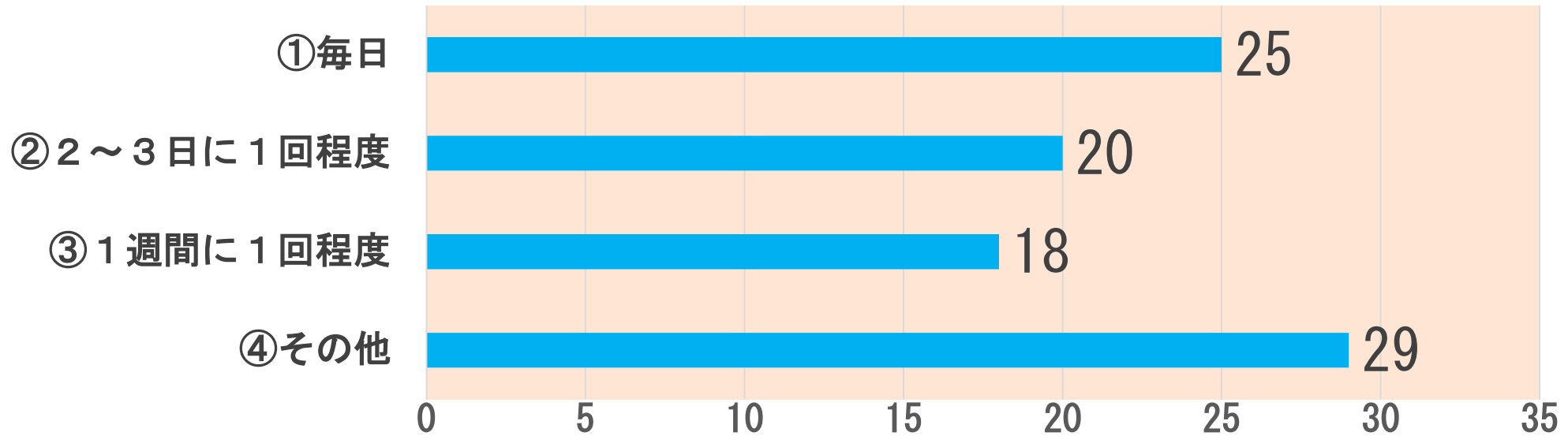
ICT連携部会の取組についてアンケートを実施し、
以下の点について評価した。

対象者：MCネット加入のケアマネ 186名
訪問看護ステーション 15事業所
地域包括支援センター 17か所

①ICT連携部会での取組みは適切か？

②MCネット加入後の有効活用に繋がっているか？

MC ネット利用頻度について (92人回答)

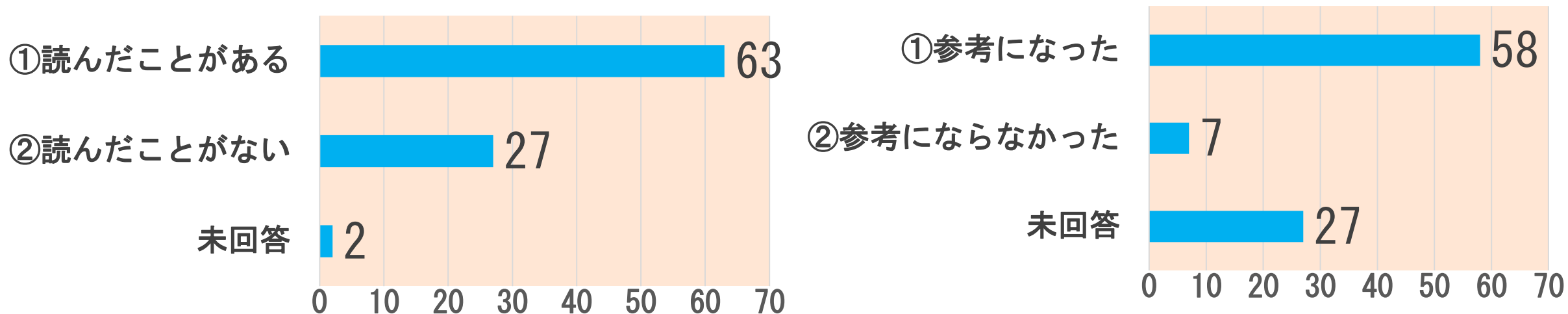


利用頻度が少ない理由 (主なもの)

- ・ まだ習慣化していない、今までのやり方 (FAX・電話を利用) を利用することが多い
- ・ 必要時に利用、回覧板は見るけど仕事で必要に迫られていない
- ・ 利用している事業所が少ない、関係事業所が加入していない、主治医が入っていない

考察：MC ネット加入後、約半数は必要に応じて利用している状況があったが、まだまだ活用頻度は少ないと考えられる。加入事業所を増やすことに加えて、活用するきっかけを作る必要もある。

「MCネットかわらばん」について (92回答中)

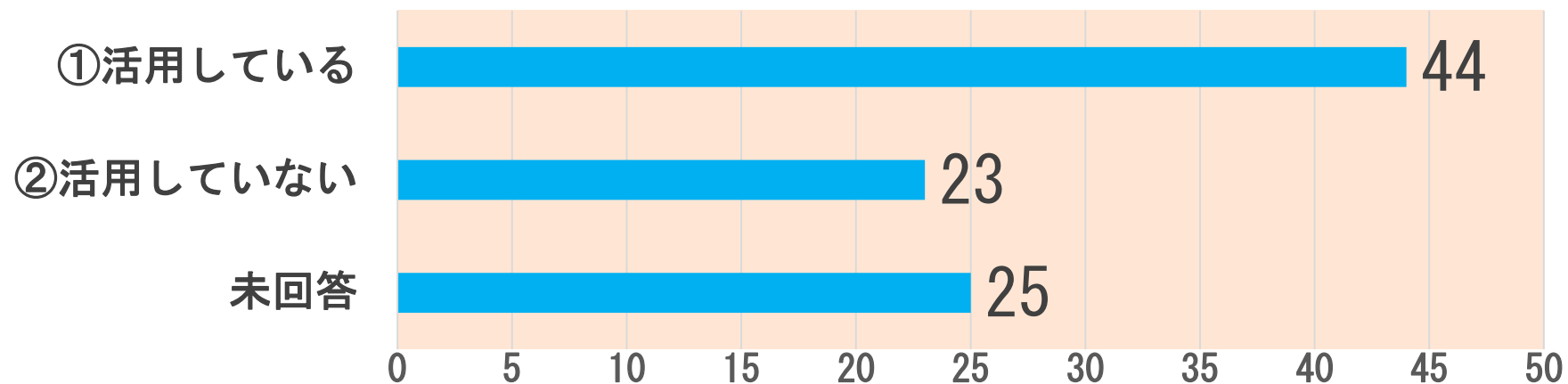


参考になったこと

- ・ 具体的な活用の仕方、メリット、法人内での活用のイメージが広がった。
- ・ 他の事業所の取組、先生のお話
- ・ MCネットのツール（書式、説明書など）を入手できた

考察：「MCネットかわらばん」について知らない人もいるため、かわらばん自体の周知を図る必要がある。引き続き具体的な活用事例や役に立つ情報等を載せていくことで活用促進につなげていけるとよい

ご利用者・ご家族向けリーフレットについて (92人回答)



リーフレットを活用してみて

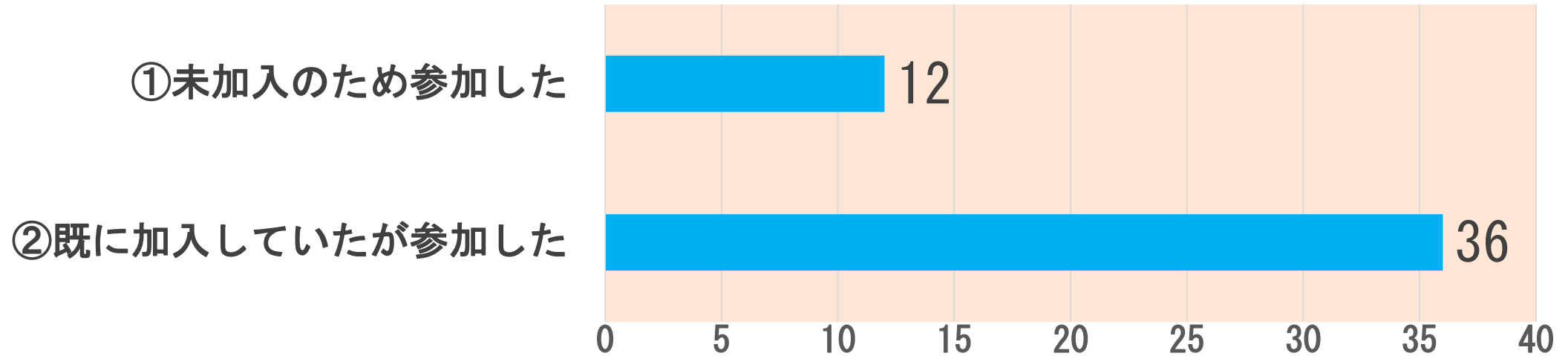
- ・ 図解で見てすぐわかるようにかいてあるので説明しやすい
- ・ 家族に説明しやすくなった、見やすくなった
- ・ 利用者には分かりにくい。システムの内容理解がすすまない。

活用していない理由

- ・ リーフレットがどこにあるか知らない
- ・ 利用者が理解できない

考察：リーフレットの作成でMCネットの説明はしやすくなったと考えられる。今後もケアマネや本人家族の意見を聞きながら必要に応じて修正していければよいと考える

MC ネット塾について (48人回答中)

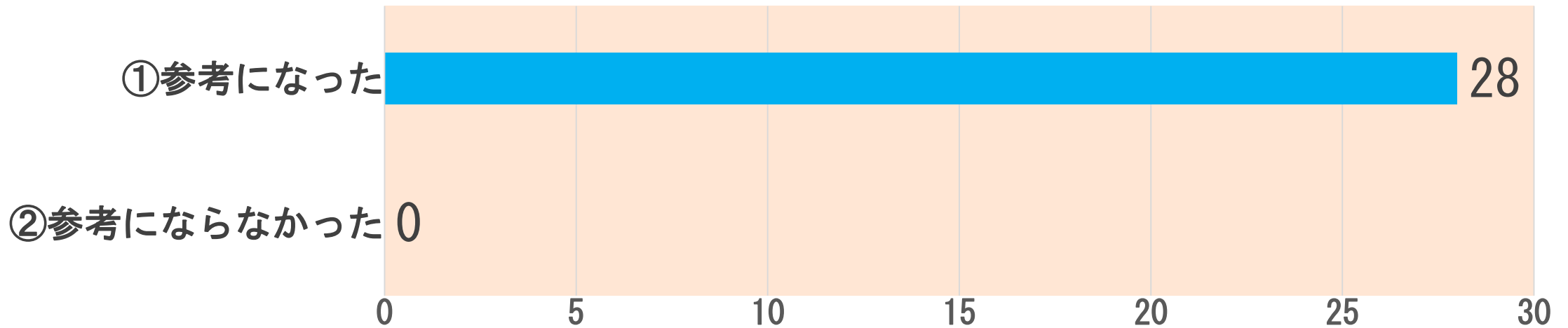


主な参加理由や知りたい内容

- ・操作方法と活用方法
- ・関係事業所と連絡・調整・連携に使いたい
- ・実際に利用してみたら、疑問点があった、活用の幅を広げたい

考察：活用方法に対するニーズがあり、今後はMC ネット「活用塾」の開催に切り替えていくとよいと考える。

MCネット「活用塾」について (28人回答)

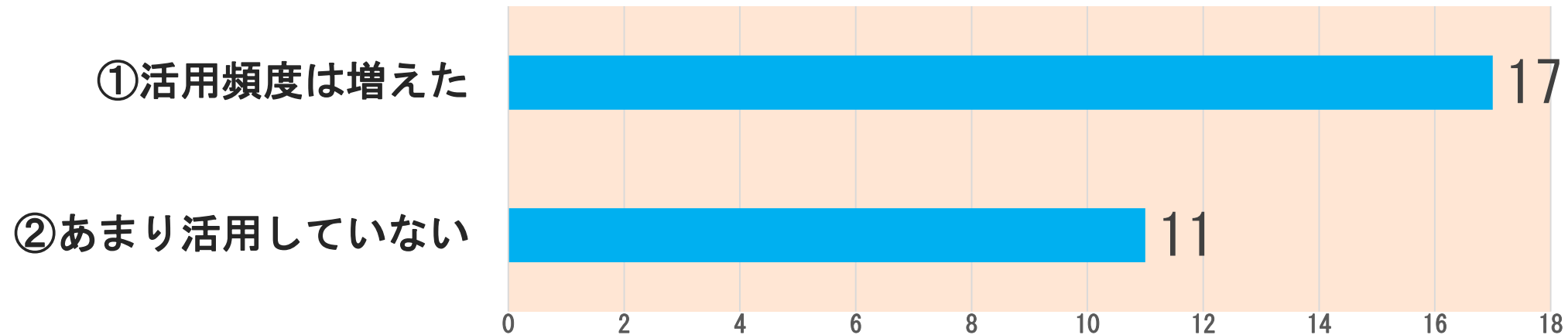


活用塾で参考になったところ

- ・ 実際の活用方法、やりとり
- ・ 多職種連携に有効なこと
- ・ タイムリーに情報共有できること

MCネット「活用塾」について (28人回答)

「活用塾」参加後のMCネット活用について



①活用頻度は増えた

- ・ 時間短縮や仕事の効率化につながる
- ・ 日程調整やサービス調整の進捗状況をお互いに情報交換しやすくなった
- ・ 活用してみたら便利さが増し、業務の手間が省けた

②あまり活用していない

- ・ 使用方法に不安
- ・ つながりたい事業所が加入していない

考察：活用メリットを実感したことで、さらに活用促進につながっていると思われる。活用のはじめの段階で不安を持っている人が多く、活用塾で不安を軽減し、操作方法だけでなく、様々な活用方法も理解してもらえると、活用頻度も増えていくものと考えられる。

C h e c k 【評価1ーまとめ】

ICT連携部会の取組について：アンケートからの評価

- ① ICT連携部会での取り組みは、概ね適切で効果があった。

- ② しかし、MCネットの有効活用にはまだ十分には繋がっていない。

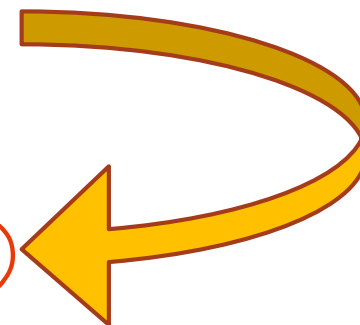
Check 【評価2】

①加入事業所の増加

平成29年3月31日（81 事業所、197ユーザー）

→30年3月31日（200事業所、369ユーザー）

→31年1月31日現在（303事業所、579ユーザー）



②上越市・妙高市の事業所加入率の変化（H30.5→H31.1.31現在）

- ・ 地域包括支援センター加入率 38.1%→91.7%（12事業所中11事業所）
- ・ 居宅介護支援事業所 加入率 46.5%→58.0%（88事業所中51事業所）
- ・ 訪問看護事業所 加入率 85.7%→93.3%（15事業所中14事業所）

A c t i o n 【改善】 次年度への課題

- ①MCネット加入率アップ（特に居宅介護支援事業所、医療機関）
- ②活用の質の向上
- ③運用上の課題（セキュリティー、削除などのルール、異動に伴う変更等）

◆主な取組み案

- MCネット活用塾の開催→医師会館での開催
- 他の部会との連携（例：多職種連携推進部会等の研修会内でMCネットの活用を提案、地域連携連絡票のMC上での作成の提案）
- 活用状況の定量的な評価指標の検討
- セキュリティー対策（使ってみての不具合や、使いづらいつころは無いかな）
- MCネット利用時のルールの徹底
（例：死亡や施設入所後の回覧版の削除、職員の異動に伴うユーザーの変更）